

11月13日 の海外相場								
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)
	Open	4,124.0		50.445		1,595.5		1,440.0
	High	4,155.0		51.130		1,622.6		1,483.5
	Low	4,102.8		50.150		1,581.6		1,438.5
	Settlement	4,116.3		50.744		1,598.3		1,473.2
Change		-5.7		0.433		-2.2		24.6
EFP		\$3.00	\$5.00	- ¢ 6.00	¢ 5.00	\$23.00	\$28.00	\$15.00 \$25.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)		
	AM	PM
Gold	41,234.30	4,195.65
Silver	53.870	-
Platinum	1,627.00	1,602.00
Palladium	1,486.00	1,463.00

コメント

Precious Metal

金：下落、銀：下落、プラチナ：下落、パラジウム：下落
欧州時間では英国の実質GDP（予：0.2% 結：0.1%）の速報値が発表され、予想を下回る結果となったが、相場への影響は限定的だった。米国相場ではFRB 高官のタカ派寄り発言が続いたことで、米国時間では株安、米債安、金利は上昇した。短期金利スワップで12月利下げの織り込みが50%を割り込む局面もあり、リスク資産が売られる展開となった。貴金属相場は政府機関再開でデータ空白が解消される見通しから指標ラッシュ前のポジション軽量化が進み、売りが出やすい地合いとなり、貴金属相場は下落した。

FX

ドル円：下落 ユーロドル：上昇
ドル円は反落。米株式相場や日経平均先物の大幅下落も重石となり、一時154.13円まで下落。もともと、前日の安値154.05円や一日均衡表転換線153.93円がサポートとして意識されると下げ渋り、早朝には154.59円付近まで戻した。FRB高官から12月利下げに慎重な発言が相次いだことで、米金利の下支えが意識され、下値は限定的となった。米政府再開を受けて、今後発表が再開される米経済指標を見極めたいとのムードが広がる中、全般ドル売りが優勢となり、ユーロドルは1.1656ドルまで上昇。もともと、1.1660ドル台前後のレジスタンスが意識されると伸び悩み、上値の重い展開となった。
ドル円：154.56 ユーロドル：1.1633

11月10日 週の経済指標一覧									
11/10 (月)			11/11 (火)			11/12 (水)			11/13 (木)
USA									米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [前月比]
	前	予	前	予	前	予	前	0.3%	米国・小売売上高 10月 [前月比]
									米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [前年比]
	前	予	前	予	前	予	前	3.0%	米国・小売売上高 10月 [自動車除くコア・前月比]
									米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [食品・エネルギー除くコア・前月比]
	前	予	前	予	前	予	前	3%	米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [食品・エネルギー除くコア・前年比]
									米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [食品・エネルギー除くコア・前年比]
	前	予	前	予	前	予	前		
Asia	前	予	前	予	前	予	前		
	前	予	前	予	前	予	前		
	前	予	前	予	前	予	前		
Europe			英国・ILO失業率 09月				英国・実質GDP (速報値) 第3四半期 [前期比]		
	前	予	前	4.8% 予 4.9%	前	4.8% 予 4.9%	前	0.3% 予 0.2%	
			ドイツ・ZEW景況感指数 11月				英国・実質GDP (速報値) 第3四半期 [前年比]		
	前	予	前	39.3 予 -	前	予	前	1.4% 予 1.4%	

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉

米政府閉鎖の影響により情報公開無

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。
当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。